

今日から2学期

進路実現に向けて本格始動！

高校最後の夏休みが終わりました。充実した日々を過ごせましたか？ 講習を受けたり、自習室に通ったり、模試を受けたりして、学力増進に打ち込んだ人が大勢います。オープンキャンパスに参加して視野を広げて可能性に挑戦しようと決断した人もいます。また、面接練習、求人票閲覧、職場見学を通じて、就職への意欲と覚悟を固めた人もいます。これらとは別に、高校最後の部活動に打ち込んだ人も有意義な夏休みを過ごせたのではないのでしょうか。しかし一方では「何となく夏休みが終わってしまった」という少し残念な人もいるかも知れません。ただ、どんな人にもやがて「進路実現のための勝負の日」「これからの人生を切り開ききっかけの日」がやって来ます。この2学期は、その日を良い状態で迎えるために、今できる事に精一杯取り組んでください！！

生活のリズムを立て直そう！

夏休みの間に、就寝時刻が遅くなり夜型の生活になっている人はいませんか？ 入試も面接も多く場合は午前中を中心とした昼間に行われます。この時間帯に最高のパフォーマンスを発揮できるように生活リズムを修正しましょう。試験では頭がよく働くように、面接ではさわやかで元気な笑顔が出せるように。睡眠時間も確保して、無遅刻、無欠席の学校生活を送ることが基本です。

今一度「授業＝受験勉強」

入試科目においては、既習の内容に加えてこれから授業で進む内容の全てが試験範囲です。これまでに習った事を復習しながら新しいことを付け

加えていかなければいけません。限られた時間のなかで新しいことを学ぶ最も効率の良い方法は、何でしょうか？ それは、「よく分かっている人に教わる」ことです。つまり、新しく学ぶ内容の受験対策は、授業を中心にすすめるのが最も合理的です。具体的には次のとおりです。



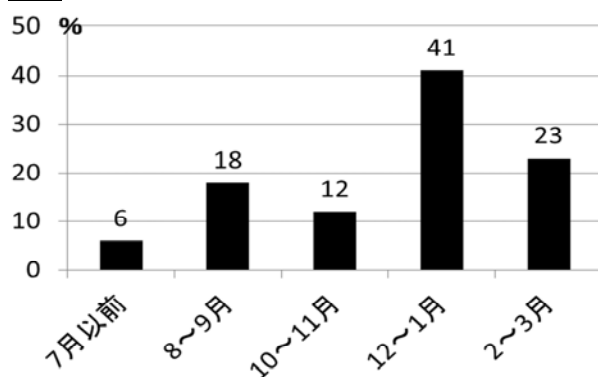
①授業を良く聞き、授業の内容はその時間中に理解する。
②復習や練習（問題集を解く）を必ず行い身につける。
③分からないところは放置しない。昼休みや放課後に質問に行く。こまめに行く。
④考査では必ず80点以上を取る。

当たり前ですが、当たり前のことが実は王道なのです。

今からでも頑張れ！決して遅くはない！！

8月2日の「PTA大学見学会」で、関西大学を見学しました。さすがに広くて立派なキャンパスでした。学生の皆さんも「充実したいい顔」をしていました。説明会で聞いた関大の先生のお話の中から皆さんに参考になることを紹介します。

問い：次のグラフは何を表わすものでしょう？



答え：関大の新生へのアンケートで「合格への手応え」を感じた時期。つまり「『いけるかも!』と思えたのはいつですか?」という問いに対する答えをグラフにしたものです。

この結果は、関西大学の場合ですが、他の大学の場合でも同じ傾向です。受験生に勇気を与えてくれるものだと思います。グラフを見ていきましょう。

7月以前・・・まだ本格的な受験勉強すら始めておらず、手応えを感じている人はごくわずかです。

8～9月・・・夏休みの勉強を通じて、手応えを感じる人が現われます。でも2割に届きません。多くの人の模試の判定まだ「D」や「E」です。

10～11月・・・一番苦しい時期です。周囲には進路が決まる人が現れ始め、自分が取り残されたような気がします。その一方で、模試の判定も思うようには上がらず、本当に力がついてきているのかどうか不安になります。志望校を変更した方が良いのではとか、公募制推薦で手を打って楽になりたい、などと考える人も

現われます。でも、決して諦めてはいけません。ここが頑張りどころです。苦しいのはあなただけではありません。



12～1月・・・4割の人がここまで来てやっと手応えを感じます。センター試験が1月中旬、摂南大、大経大、近大などの一般前期が1月末であることを考えるとまさに本番直前です。年明けまで頑張れば「いけるかも!」と思えるようになること、そして、最も多く人がそうであることを教えてくれています。私たちが「一般入試まで頑張り」と訴える根拠がここにあります。現役生は冬に伸びるのです!

2～3月・・・入試日程で言うと、関大、立命館大などの一般前期や多くの大学の中期・後期の時期です。受験勉強は成果がでるまでに少なくとも3～4ヶ月、長いと5ヶ月かかると言われます。スタ

ートの少し遅かった人、つまり9月になって本格的に勉強を始めた人がここに来て、やっと手応えを感じているのです。そして、驚くべき事はこのような人が2割以上もいるということです。だから、「自分を信じて頑張ればまだまだ時間はある、今からでも間に合う」とは思いませんか!?



- ・高い目標を掲げよう。
- ・今の力で行けるところを探さず、行きたいところをめざして自分を高めよう。
- ・受験機会は複数回ある。チャレンジしよう。
- ・一般入試まで粘ろう。

当面の進路日程

日	曜	進学関係	就職関係	その他
23	水	指定校推薦公示		追認考査 23, 24
25	金	指定校推薦説明会	就職校内選考	
28	月		応募企業決定通知・連絡会	
29	火	ベネッセマーク模試		
30	水	受付(進路へ)		
5	火	指定校推薦校内選考	応募種類郵送	
12	火	指定校推薦決定者連絡会		
13	水	センター試験説明会		
14	木	分野別進路説明会(5限)進学・就職・看医・その他に分かれて		
16	土	ベネッセマーク模試 看護医療模試	就職試験開始	

重要 指定校推薦説明会について

指定校推薦を利用しようと少しでも考えている人は、必ず25日(金)の「説明会」に出席すること。出席したからといって必ず指定校に申し込む必要はありません。しかし、説明会に出席していない者は、一切の指定校推薦を受けられません。予定を明けておくこと! 《裏面へ》



いろいろな書類と出願時の注意

今後、AO入試、指定校推薦入試、公募制推薦入試、一般入試、等で出願する場合の注意事項を書いておきます。よく読んでおいてください。

0、「募集要項」を取り寄せること

紙ベースの提出書類が必ずあります。

1、「募集要項」をよく読むこと

次の1～8についてしっかり確認して、書類をそろえる。自分に都合の良い判断をしがちなので、不安な場合は保護者や担任の先生に見てもらう。

2、出願の期日 消印有効か？必着か？

余裕を持って書類を整えること。

3、インターネット出願の場合

自宅にインターネット出願の環境の無い場合は、担任の先生に相談すること。

*インターネット出願の場合も調査書・推薦書は郵送です。以下の注意を良く読み期日に注意して出願すること。



4、願書

必ず自分で丁寧に書く。鉛筆書き、修正液は不可。募集要項に記入例がある場合があるので、必ず確認する。

*写真は担任が保管している。一人あたり四枚ある(4cm×3cm)。もし、四枚以上必要な場合やサイズが異なる場合は、早い目に担任の先生へ申し出る。

5、調査書(AO・推薦・一般で必要)

学校が校長先生の名前で発行するもの。

①「調査書発行願い(水色の用紙)」をもらい、必要事項を記入する。

*学校名、学部・学科・専攻・コース名など正確に書く。

② 出願の1週間前までに担任に提出する。

*調査書は即日発行できないので余裕を持た

せる。

6、推薦書(指定校・公募制推薦入試で必要)

学校が校長先生の名前で発行するもの。

「調査書発行願い」と一緒に担任の先生に用紙を渡して作成してもらう。調査書より作成に時間がかかる場合が多いので、期日に注意する。

*作成された「調査書・推薦書」は封筒に入れて厳封(「緘」印)されているので、開封すると無効になります。不要になれば返却してください。

7、志望理由書(推薦・AO入試の場合)

自分で丁寧に書く(基本はボールペン)。

「志望理由書・自己PR完成ノート」で学習したことを思い出して、質問などに的確に答えること。不安な場合は担任の先生に見てもらう。

8、受験料

銀行・郵便局・コンビニで受験料を振り込み、その納付書を願書に添付する必要がある。振込みができるのは、銀行は3時まで、郵便局は4時までなので注意! 前もって準備しておくこと。

9、AO入試の場合

①エントリーする場合は、担任の先生に申し出て「AO入試受験届」に必要事項を記入する。

*AO入試は原則専願なので、この用紙が「合格すれば変更しません」という誓約書代わりになります。従って、保護者の印鑑が必要です。

*万一、夏休み中に担任の先生に言わずにエントリーしている場合は、「AO入試受験届」の用紙をもらってすぐに提出すること。

②合格内定の後、正式な出願の際に調査書が必要になる。「5、調査書」の項を参照。

10、郵送時

封筒に入れてのり付けする前にもう一度中身を確認する。特に複数校に出願する場合は宛先の異なる調査書を入れないように!



11、受験報告書 面接や作文を伴う入試の場合は、その内容を記入して必ず報告してください。皆さんの後輩への貴重な資料になります。

その他全体的な注意

- ・自分で調べて自分で行動する事。
- ・その際、担任の先生や進路指導部の先生、保護者と相談しながら進める事。
- ・特に、分からない場合は決して自分だけで判断しない事。
- ・最終的な結論は必ず担任の先生に報告する事。
- ・書類は即日発行できないので、余裕を持って担任の先生に依頼する事。
- ・受験料の振り込み、出願書類の送付などのために授業を抜けない事。そのための遅刻や欠席、早退は欠席・欠課になる（公欠にならない）。期日ギリギリにならないようにすること！

本番間近！就職希望の人へ

夏休み中に、求人票を閲覧したり、応募前職場見学に参加したりして、志望する企業や仕事に対する具体的なイメージを描くことができたのではないかと思います。

今後は校内選考や最終の面接練習が行われますが、本番に備えて次の準備をしておきましょう！

① 応募書類は9月5日に発送します。

ボールペンで書きます。何度も書き直しをする人もあるので、早めにとりかかる事。9/1までに履歴書を完成させ、5日に発送します。



② 就職試験は9月16日（土）以降に実施されます。

面接に対しては・・・

・「なぜその職業・職種なのか」「なぜその企業

なのか」「自分の長所を職場でどのように生かすことができるのか」などの質問



に対する答えを、自分の受ける企業に合わせて練り直すこと。そして、はっきり、わかりやすく伝えられるように練習すること。自分を売り込もう！！

筆記試験・適性検査に対しては・・・

- ・適性検査に対しては練習して慣れておく。
 - ・筆記試験は一般教養がほとんどです。問題集をしっかりと勉強しておくこと！
- ③ 服装頭髪等について

当日はブレザーを着用します。制服やカッターシャツ、ネクタイ、リボンなどに汚れや破れなどが無いか確認おきましょう。頭髪なども、今からきちんとしておくこと。

とにかく、第一印象が重要です！

自習室・進路閲覧室を利用しよう！

自習室 利用時間帯 朝 希望者は進路指導室に申し出る
放課後 下校時刻まで

閲覧室 利用時間帯 随時（休み時間、昼休み、放課後）
備えてある資料

- ・各大学・短大・専門学校の学校案内
- ・募集要項（学校によっては昨年のもので）
- ・過去問・赤本（2泊3日で借りることができます）
- ・その他資料

全員へ 受験のための出席停止について

進学、就職の筆記・面接・実技試験のために、学校を欠席する場合のみ「出席停止」扱いになり「出席すべき日数」から減じられます（＝インフルエンザや忌引の日数と同じく欠席にならない）。ただし、出願や発表を見に行く事は欠席・欠課になります。